

MITSUBISHI 三菱パッケージエアコン別売部品 多機能ケースメント／高性能フィルタエ

安全のために必ず守ること

- 取付けは、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、確実にこなしてください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの。
注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの。

- 取付け完了後、試運転を行ない異常がないことを確認するとともに、この取付説明書は取扱説明書と共に、お客様で保管していただくように依頼してください。また、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しいただくように依頼してください。

警告

取付けは、販売店または専門業者に依頼する。

- お客様自身で取付けをされ不備があると、部品によっては水漏れや感電、火災等の原因になることがあります。

取付けは、この取付説明書に従って確実にこなす。

- 取付けに不備があると、部品によっては水漏れや感電、火災等の原因になることがあります。

取付け（移設）・電気工事をする前に

注意

ポリ袋は幼児の手の届くところに置かない。

- 頭からかぶるなどしたときに口や鼻をふさぎ窒息する原因になります。

電源配線工事がある場合は、電流容量に合った規格品の電線を使用すること。

- 漏電や発熱・火災の原因になることがあります。

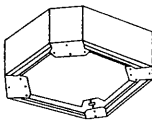

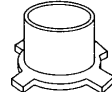

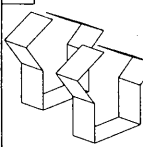

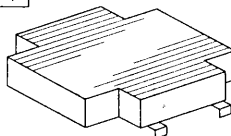
冷媒配管工事がある場合の断熱は結露しないように確実にこなす。

- 不完全な断熱施工を行なうと配管等表面が結露して、露タレ等が発生し、天井・床その他、大切なものを濡らす原因となります。

ドレン配管工事がある場合は、取付説明書に従って確実に排水するように施工し、結露が生じないよう保温すること。

- 配管工事に不備があると、水漏れし、天井・床その他家財等を濡らす原因になることがあります。

1. **部品の確認** この箱の中には、この説明書の他に下記部品が入っていますので、ご確認ください。

品番	PAC-SE21TM (多機能ケースメント)						PAC-SE13KF PAC-SE19KF (高性能フィルタ)
品名	①多機能ケースメント	②座付ネジ	③ダクトフランジ	④タッピングネジ	⑤板固定用フック	⑥バンド	⑦高性能フィルタエレメント
個数	1	4	1	6	2	1	1
形状		M5×0.8×15 		4×10 			

ご注意

- 多機能ケースメントの取付けは、下記の標準据付手順にて施工してください。
(標準据付手順以外の取付けをしますと、冷媒配管・ドレン配管・電気配線工事ができない場合があります。)
- 据付場所において、油の飛沫や蒸気の多い所は避けてください。
- 室内ユニット及び化粧パネルの取付けは、各々の説明書を参照してください。
- 外気取入れをする場合は、多機能ケースメントのみ手配願います。高性能フィルタエレメントは多機能ケースメントと併用となります。

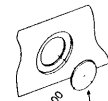
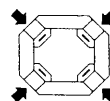
2. **室内ユニット本体の取付け**・・・室内ユニット付属の据付説明書を参照し、据付けしてください。

3. 多機能ケースメントの取付

3-1) 取付前の準備

- 室内ユニットの電気配線・冷媒配管・ドレン配管工事を必ず多機能ケースメントを取付ける前に行なってください。
- 室内ユニット付属の据付説明書により、室内ユニットの据付高さを再確認してください。
- あらかじめ外気取入方向を選定し、右図の4コーナの外気取入用ロックアウト穴1ヶ所に穴開けしてください。

--- 外気取入用ロックアウト穴位置 --- ロックアウト穴開け加工



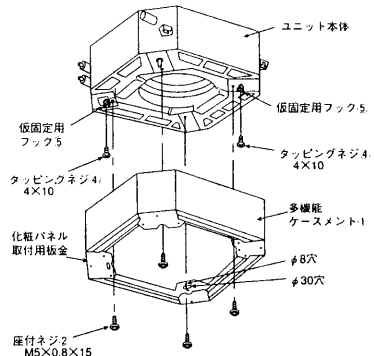
この部品を外す
(板金断熱材付)

ント取付説明書

別売形名	適用機種
PAC-SE21TM (多機能ケースメント)	カセット形4方向吹出しJタイプ J40~J71形
PAC-SE13KF (高性能フィルタエレメント) ※NBS65%	
PAC-SE19KF (高性能フィルタエレメント) ※NBS90%	

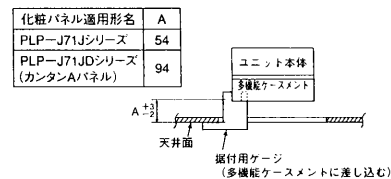
3-2) 仮止め (多機能ケースメントの方向性はありません。)

- あらかじめ付属の仮固定用フック⑤をユニット本体に図のようにタッピングネジ④にて固定します。
- ユニット本体と多機能ケースメントの取付足部の穴 (φ30穴) を仮固定用フック⑤に押し込み、セットしてください。
- この時、ユニット本体のコネクタがかまないように注意してください。



3-3) 固定

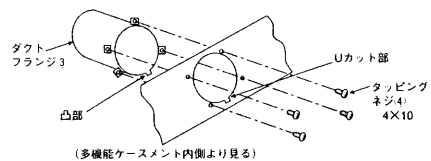
- 多機能ケースメントの取付足部の穴 (φ8穴) とユニット本体とを、座付ネジ②4本にて固定します。
- (多機能ケースメントとユニット本体との間に隙間がないよう確実に座付ネジ②を締め込んでください。)
- また、あらかじめ化粧パネル取付用板金を外しておくと座付ネジ②の締め込み作業が簡単にできます。
- 図のように化粧パネル付属の据付用ゲージにて、天井面と多機能ケースメントとの高さ位置の再調整・再確認をしてください



ダクトの取付

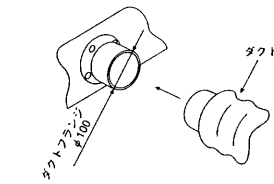
4-1) ダクトフランジの取付

- ダクトフランジ③を3-1) にて穴開けた外気取入用ロックアウト穴位置に右図のように多機能ケースメントのUカット部とダクトフランジ③の凸部を合わせタッピングネジ④にて固定してください。
- また、あらかじめ化粧パネル取付用板金を外しておくとタッピングネジ④の締め込み作業が簡単にできます。



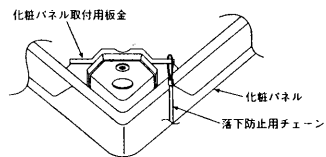
4-2) ダクトの取付 (現地手配)

- ダクトフランジ③の外径はφ100mmとなっていますので、外径・内径を合わせ、ダクトの手配をしてください。
- 高温多湿条件での天井裏の場合、ダクト外壁に結露する恐れがありますので、ダクトに断熱材を巻いてください。



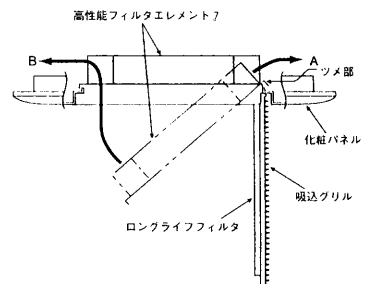
化粧パネルの取付

- 化粧パネル取付後、落下防止用チェーンを化粧パネル取付用板金へ取付けてください。
- 注) 配線接続時、ユニット本体と化粧パネルのコネクタを接続後、ユニット本体付属の白色ガラスチューブをコネクタ接続部が露出しないようにかぶせ、付属のバンド⑥にて結束してください。



高性能フィルタエレメントの取付

- 右図のように化粧パネルへ取付けてください。(あらかじめ吸込グリルを取り外しておくと、作業が簡単になります。)
- 注) 化粧パネル標準取付のロングライフフィルタは装着したままにしてください。
- 高性能フィルタエレメント⑦のツメ部をAの方向へ挿入しスライドさせ、反対側のツメ部をBの方向へ挿入し化粧パネルへセットしてください。



風量の設定 (高性能フィルタエレメント取付の場合)

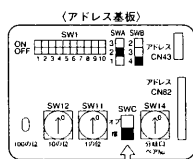
高性能フィルタエレメントを取付けた場合、風量アップの設定を行う必要があります。風量の設定をしない場合、風量が低下し、能力の低下および露たれ等が発生する恐れがありますので必ず行ってください。

①取り付ける室内ユニット本体がJA形の場合

- リモコンからの設定となりますので、裏面のリモコン操作手順をご参照のうえ、“高性能フィルタエレメント組込み 有り” の設定をしてください。

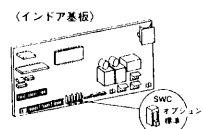
②取り付ける室内ユニット本体がJM形の場合

- 室内ユニット本体のアドレス基板のスイッチ“SWC”を“オプション”側に設定します。(工場出荷時は“標準”)



③取り付ける室内ユニット本体がJK形の場合

- 室内ユニット本体のインドア基板のスイッチ“SWC”を“オプション”側に設定します。(工場出荷時は“標準”)



ワイヤードリモコンから設定する場合

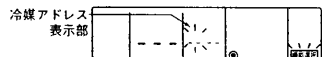
設定は高性能フィルタエレメントを取り付けたユニット毎に行ってください。取り付けたユニットが2台以上の場合、2台目以降は、同一室外ユニットに接続されている場合には(3)-(2)項から、室外ユニットが異なる場合には(2)-(2)項から繰り返して設定してください。

(1) リモコンを停止にします。

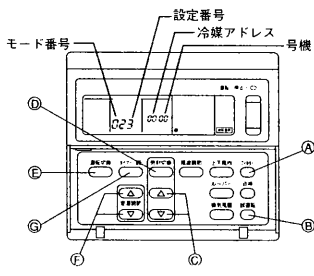
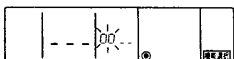
(2) 冷媒アドレスの設定

高性能フィルタエレメントを取り付けた室内ユニットと接続されている室外ユニットの冷媒アドレスを設定します。

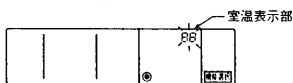
①(A) [フィルター] と ②(B) [試運転] ボタンを同時に2秒以上押し続けます。機能選択が点滅し、しばらくすると冷媒アドレス表示部が点滅します。



②(C) [△] [▽] (時刻切換) ボタンを押すと冷媒アドレスNoが00~15の間で前後しますので設定してください。(リモコンと室外ユニットが1:1で接続されている場合には00に設定します。)



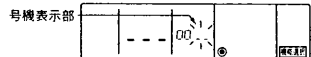
※ [機能選択] および室温表示部に「00」を2秒間点滅後、停止状態となる場合は、通信異常が考えられます。伝送路の近くにノイズ源がないか確認してください。



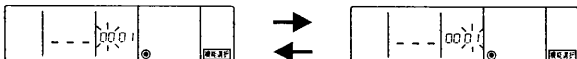
(3) 室内ユニット号機の設定

高性能フィルタエレメントを取り付けた室内ユニットの号機を設定します。 ※号機がわからない場合は(4)の操作後の室内ファンの送風運転により確認してください。

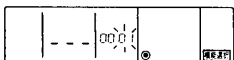
①(D) [時刻切換] ボタンを押して、号機表示部「--」を点滅させます。



※(D) [時刻切換] ボタンを押すと、冷媒アドレスの設定と号機の設定が切り換えられます。



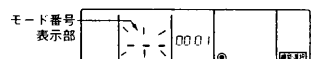
②(C) [△] [▽] (時刻切換) ボタンを押すと表示が00→01→02→03→04→ALと変化しますので、高性能フィルタエレメントを取り付けた室内ユニットの号機に設定してください。(室内ユニットと室外ユニットが1:1で接続されている場合には01に設定します。)



- ① 01~04号機個別に設定したい場合はそれぞれ「01~04」に設定してください。
- ② 01~04号機一括で設定したい場合「AL」に設定してください。

(4) 冷媒アドレス、号機の確定

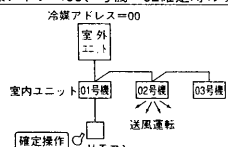
(E) [運転切換] ボタンを押すと、しばらくしてから、冷媒アドレス、号機表示部が点灯し、確定されます。



※室温表示部に「00」が点滅表示する場合、選択した冷媒アドレスがシステム内にありません。また、号機表示部が「F」となり、冷媒アドレスと号機が点滅表示となる場合は、選択した号機が存在しません。操作(2)、(3)項にて冷媒アドレス、号機を正しく設定してください。

③ (E) [運転切換] ボタンにて確定操作することにより、確定された室内ユニットが送風運転を開始します。高性能フィルタエレメントを取り付けた室内ユニットの号機を知りたい場合はこれにより確認してください。なお、ALの場合は選択した冷媒アドレスの全室内ユニットが送風運転します。

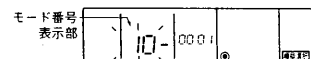
(例) 冷媒アドレス00、号機=02確定時の場合



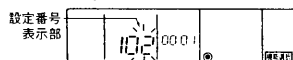
※異冷媒系統でグルーピング時、設定した冷媒アドレス以外の室内ユニットが送風運転する場合、ここで設定した冷媒アドレスの重複が考えられます。再度、室外ユニットのディップスイッチにて冷媒アドレスの確認をしてください。

(5) 高性能フィルタエレメント組み込み有りの設定

①モード番号表示部「--」が点滅している状態で(F) [△] [▽] (室温調節) ボタンを押して10に合わせます。(高性能フィルタエレメント組み込み設定のモードになります。)

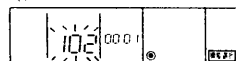


②(G) [タイム/連続] ボタンを押すと、設定番号表示部が点滅します。(F) [△] [▽] (室温調節) ボタンを押して2に設定してください。(高性能フィルタエレメント組み込み有りの設定になります。)



(6) 設定の終了

①(E) [運転切換] ボタンを押すと、(5) で設定し



※モード番号および設定番号が「--」となり室内伝送路の近くにノイズ源がないか確認してください。

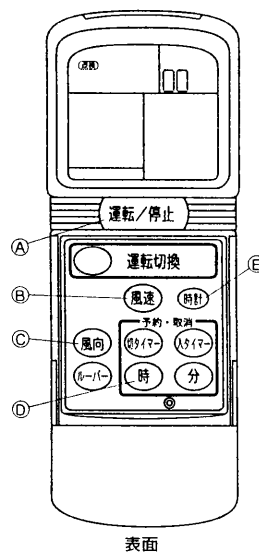
他の室内ユニットを設定したい場合には(3)-(2)(A) [フィルター] と(B) [試運転] ボタンを同時に2秒

※設定終了後、30秒間は

お願い 途中で操作を間違えた場合は、Aに(2)からやり直してください。

ワイヤレスリモ

設定は高性能フィルタエレメントを取り付けたユニットした室内ユニットまたはその室内ユニットと同一室外ユニットがないと設定できませんので注意してください。



表面

(1) 設定の準備

- ①ワイヤレスリモコン操作部裏面のF調整スイッチ → [点検]、[試運転] が点滅表示します。
- ②(D) [時] ボタンを押します。
 - [点検] が点灯表示し [試運転] は消灯し「00」が点滅表示します。
- ③(C) [風向] ボタンを1回押しして表示を50に合わせ、ワイヤレスリモコン受光部に向けながら(D) [時]

(2) 室内ユニット号機の設定

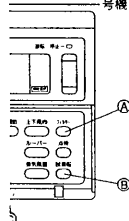
- ①(C) [風向] または(D) [風速] ボタンを押して高性能ユニットの号機に合わせます。(室内ユニットと場合には01に設定してください。全室内ユニット)
- ②ワイヤレスリモコン受光部に向けながら(E) [時計] ボタンにて号機を入力することによりを開始します。高性能フィルタエレメントを取り付けた室内ユニットが送風運転します。

※接続台数以上の号機を選択した場合はブザー音が号機を入力してください。

高性能フィルタエレメント取付時の風量アップ設定方法（JA形の場合）

が2台以上の場合、2台目には(2)～(2)項から繰り返し

番号
冷媒アドレス 号機



室温表示部に「00」の状態となる場合があります。伝送路がないか確認し



らない場合は(4)の操作でファンの送風運転による

高性能フィルタエレメント1:1で接続されている場合はそれぞれ「01～04」に「AL」に設定してくだ

れます。操作することにより、確認を開始します。高性能室内ユニットの号機を確認してください。なお、全室内ユニットが

2確定時の場合



き、設定した冷媒アドレスで運転する場合、ここで考えられます。プスイッチにて冷媒ア

に合わせます。(高性能

ボタンを押して2に設

(6) 設定の終了

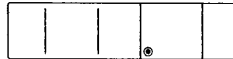
(1)(E) [運転切換] ボタンを押すと、(5) で設定した部分が点滅し、しばらくすると点灯となり、設定が完了します。



※モード番号および設定番号が「---」となり室温表示部に「00」が点滅表示となる場合は、通信異常が考えられます。伝送路の近くにノイズ源がないか確認してください。

他の室内ユニットを設定したい場合には(3)～(2)または(2)～(2)項から繰り返し行ってください。

(2)(A) [フィルター] と(B) [試運転] ボタンを同時に2秒以上押します。しばらくすると空調機停止画面になり、設定終了です。

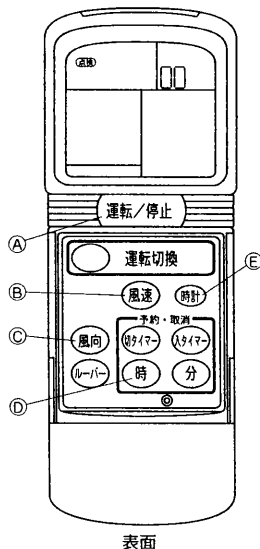


※設定終了後、30秒間はリモコンより操作しないでください。

お願い 途中で操作を間違えた場合は、(A) [フィルター] と(B) [試運転] ボタンを同時に2秒以上押し、30秒後に(2) からやり直してください。

ワイヤレスリモコンから設定する場合

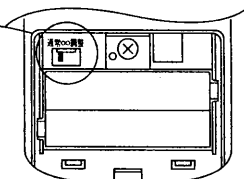
設定は高性能フィルタエレメントを取り付けたユニット毎に行ってください。取り付けたユニットが2台以上の場合、取り付けた室内ユニットまたはその室内ユニットと同一室外ユニットに接続されている室内ユニットにワイヤレスリモコンの受信部がないと設定できませんので注意してください。



表面

(E) 調整スイッチ

通常∞調整



裏面（フタを開けた状態です。）

(1) 設定の準備

①ワイヤレスリモコン操作部裏面の(E)調整スイッチを”調整”側に切替えます。

→ [点検]、[試運転] が点滅表示します。

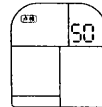
②(D) [時] ボタンを押します。

→ [点検] が点灯表示し [試運転] は消灯します。

00が点滅表示します。

③(C) [風向] ボタンを1回押して表示を50に合わせます。

ワイヤレスリモコン受光部に向けながら(D) [時] ボタンを押します。

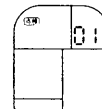


(2) 室内ユニット号機の設定

①(C) [風向] または(B) [風速] ボタンを押して高性能フィルタエレメントを取り付けた室内ユニットの号機に合わせます。(室内ユニットと室外ユニットが1:1で接続されている場合には01に設定してください。全室内ユニットの場合には07に設定してください。)

②ワイヤレスリモコン受光部に向けながら(E) [時計] ボタンを押します。

(E) [時計] ボタンにて号機を入力することにより、確定された室内ユニットが送風運転を開始します。高性能フィルタエレメントを取り付けた室内ユニットの号機を知りたい場合はこれにより確認してください。なお、号機が07の場合は同一室外ユニットに接続されている全室内ユニットが送風運転します。



※接続数以上の号機を選択した場合はブザー音が3回出力されます。この場合は、再度号機を入力してください。

(3) 高性能フィルタエレメント (風向) または(B) (高性能フィルタエレメント) ワイヤレスリモコン受 → このとき、1回だけ (高性能フィルタエレメント) 既に高性能 (高性能フィルタエレメント) ワイヤレスリモコン受 → このとき、ブザー音 (ブザー音) が2回 (ブザー音) 設定のない (他の室内ユニット) を設定して設定する場合、ますのでご注意ください。この場合は、再度 (1)

(4) 設定の終了

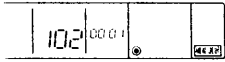
(1)(A) (運転/停止) ボタン (2) 終了後、調整ス

※設定終了後、30秒間は

お願い 途中で再度 (1)

アップ設定方法（JA形の場合）

しばらくすると点灯となり、設定が完了します。



が点滅表示となる場合は、通信異常が考えられます。

項から繰り返し行ってください。

しばらくすると空調機停止画面になり、設定終了です。

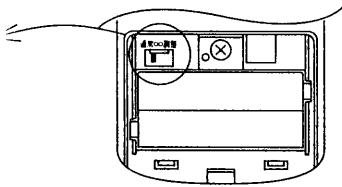


戻しないでください。

試運転 ボタンを同時に2秒以上押し、30秒後

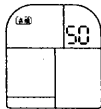
設定する場合

さい。取り付けたユニットが2台以上の場合、取り付けられている室内ユニットにワイヤレスリモコンの受信部が



裏面（フタを開けた状態です。）

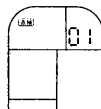
力換えます。



1...

ントを取り付けた室内
：1で接続されている
設定してください。）

す。
各ユニットが送風運転
ユニットの号機を知りた
同一室外ユニットに



戻。この場合は、再度

(3) 高性能フィルタエレメント組み込み有りの設定

① (C) (風向) または (D) (風速) ボタンを押して10に設定してください。
(高性能フィルタエレメント組み込み設定のモードになります。)

② ワイヤレスリモコン受光部に向けながら (D) (時) ボタンを押します。

→ このとき、1回だけブザー音（ビー）が鳴り、運転ランプが点滅します。

(高性能フィルタエレメント組み込み無しを示します。ブザー音（ビー）が2回鳴った場合は既に高性能フィルタエレメント組み込み有りに設定されています。この場合、(4) 項の設定の終了を行なってください。)

③ (C) (風向) または (D) (風速) ボタンを押して02に設定してください。

(高性能フィルタエレメント組み込み有りの設定になります。)

④ ワイヤレスリモコン受光部に向けながら (D) (時) ボタンを押します。

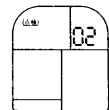
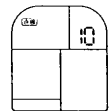
→ このとき、ブザー断続音（ビービー）が2回鳴り、運転ランプが点滅します。

(ブザー断続音が2回以外の場合は、「02」以外を入力したか、高性能フィルタのオプション設定のないユニットを指定して入力したと考えられます。)

⑤ 他の室内ユニットを設定する場合は (2)、(3) を繰り返してください。

続けて設定する場合、10分間ワイヤレス信号の入力を行わないと自動的に終了となりますのでご注意ください。

この場合は、再度 (1) からやり直してください。



(4) 設定の終了

① (A) (運転/停止) ボタンを押して設定を終了します。

② 終了後、(E) 調整スイッチは必ず“通常”側に切替えてください。

* 設定終了後、30秒間はリモコンより操作しないでください。

お願い	途中で操作を間違えたら、再度号機を設定し直す ((2) からやり直す) が、一度設定を終了し、再度 (1) から行ってください。
-----	--